
アイデアの波に乗って

トマ兔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アイデアの波に乗って

【Nコード】

N7295Y

【作者名】

トマ兎

【あらすじ】

ネギ・スプリングフィールドの双子の弟として生まれた主人公。自分についての記憶がない。原作知識もない。魔法の才能もない。特別な能力はあるけどチートじゃない。

ないない尽くしの主人公。あるのは情熱だけ。
そんなネギま！転生記

この小説は携帯で書いてるので、パソコンで読むと多分見づらいです。

一話

——落ちる。

——墜ちる。

——堕ちる。

——おちる？

上下左右前後がない空間で、ただ漠然とそんなことを思ってた。
浮遊感はない。下から吹き付ける風もない。下もない。

つてか体がない。

なのに自分が今おちてることはわかる。

摩訶不思議な体験。でも何故か今までにないくらい落ち着いている。
——いや、違う。落ち着いてるんじゃない。余計な事を考えられないだけ。

——オチル。

——おちル。

——オちル。

堂堂巡りの思考。変わらない空間。しかし終着点が見えた。どのくらい落ちていたかわからない。“やっと”なのか“もう”なのか。

——おちる。

——おちる。

——着いた。

「オンギヤー」

生まれ落ちるのと同時に、俺の意識は落ちた。

二話

最初の覚醒は突然だった。

前触れが一切なく起こったそれに少し戸惑う。頭の中が疑問で満ちないように空っぽにする。

そして最初から整理するために、先ずは声を出して自己の認識。

「あゝううゝあ」

……よし！オッケー！

予定してた言葉より少し違う音が口から出たが問題ない。これからの事を思うと瑣末事だ。声を出すという目的は達成できているので、深く考えたらダメだ。深く考えたらダメだぞ、俺。

そして次に自己の確立。俺についての『誰』『何』をしつかり理解し、これからの……せい……り………って寝るな俺っ！！

確かに少し難しかったかもしれない。でも自己を確立する事は最優先で片付けて起きたい事だ。そうすればこれから行う整理の時に、沸いて来る疑問に対して有利に進める……こ……とが……あ………

………って何故だ！何故寝てしまっんだ俺！！

難しいのがダメなのか！！難しい事がダメなんだろ！！！！

わかった。それなら仕方ない。自己の確立なんてどうでもいい。今やるべき事はそんなことじゃない。そうだ大事なことがあった。先ず最初にこれをやるべきだった。

これはいくら考えても答えはでないだろう。一番可能性があるのは輪廻転生だが、前世の記憶を持つてというのではなかったはず。輪廻転生は仏教の考えで、仏教の起源はバラモン教。別にどっちも熱心に信仰してた訳じゃないのに。……ん？あれ？俺って宗教どこだっけ？……

……アメリカの首都は？

ワシントンD.C.

572+318＝？

890

俺の誕生日は？

………

賢い人はホモ〓サピエンス。なら信じる人は？

ホモ〓レリギオス

万物の根源は何かという問題にタレスは水、アナクシマンドロスは無限なもの、ピタゴラスは数と答えた。では原子と答えたのは？

デモクリトス

ガンディーの非暴力抵抗方式を黒人闘争に取り入れ、人種平等・経済的平等、平和、民主主義などの実現を目指し、奴隷解放100周年1963年8月、ワシントン大行進をおこない、「私には夢がある。いつか奴隷の子孫と奴隷所有者の子孫が兄弟として同じテーブルにつく夢が」と演説したのは誰？

キング牧師

………寝るか！考えるのが無駄なら寝る方がいい。下手な考え休むに似たり。先人はいい言葉を残したよ。起きたら夢でありますように。

三話

夢じゃなかった。

そして

「あうあうあゝ」（知らない天井だ）

ここは何処？私は誰？

最初の覚醒時は周りを見る余裕がなかったが、改めて見ると覚えのない場所に寝転がっているようだ。

もつとよく見ようと首を動かそうとするが、まだすわってないよう動かない。

でもこれで自分が今何歳なのかわかった。生後三ヶ月未満といったところか。まだ生まれたてホヤホヤだ。

現状の把握をもつとしっかりおこないたいが、最初の失敗を見習って、あまり深く考えないようにする。

それに新たな問題が二つ浮上したので、一つの事に集中してる場合じゃない。

問題一つ目、腹が減った。

最初の覚醒からどのくらい時間が経ったのかわからないが、とにかく腹が減った。でもこの身は首もすわってない赤ん坊。何もできない。

泣いたら誰か来るのかな？でもこんな成熟した精神を持っているのに泣きわめくのはちよつと気が引ける。

そう思ってた時期がありました。

最近年なのかな？随分涙脆くなったみたいだ。何も起こってないのに、すごく悲しくなってきた。なんだかお腹空いてる事が、ひどく情けないことのように思えて……

「オンギャー」

泣いちゃった。

恥ずかしくて泣き止もうと努力するも、一度開いた涙腺はなかなか閉まらない。それどころか逆に激しくなる。

「オンギャアーーーー」

もう恥ずかしいとか言ってられない。お腹空いた。誰かきて。

「はいはい。どうしたんじゃ？スズナ？」

救世主登場！

救世主は金髪でロングストレートの女の人だ。慣れはじめたといった手つきで俺を抱き上げる。
スズナというのは俺の名前みたいだ。

「ホレ、お母さんだぞ。」

あつこれは御丁寧にどうも。俺はスズナって言います。カッコイイ眉毛してますね。

初対面でこんな事頼むのは失礼になるんですが、お腹が空いてるのでご飯を用意していただければ幸いです。

「どうした？オムツか？」

いえ、腹が減ってるんです。もうお腹と背中がくつつきそうです。

「違うか……。なら寂しいのか？」

違います。ご飯を用意してください。あと人のケツを勝手に触るのはやめろ。

「ホレホレ、お母さんはここだぞ。」

あやされても腹は膨れねえよ。さっさと飯持っていこい。

「イナイイナ―イバァ〜」

いいかげんにしろおお！！！！こっちは死活問題なんだよ！！てめ

えのつまらなえギャグ見てる暇ねんだよ！！腹が減ったって言うてんだろ！！！わかつたらさっさと飯持ってくるか、その枝分かれした不思議眉毛剃り落としてこい！！！！

「これもダメか……。あつ腹が減ったのか？」

やっとわかったか。わかつたんならさっさとミルク持ってきてこい。口ツクで。

人肌に冷ますの忘れんなよ。

「ちよっと待っておれよ。」

待つよ。いくらでも待つ。だから早く持ってきて来てくれ。

ん？何ゴソゴソしてんだよ。俺の事は一旦ベッドに置いて、用意しにいけよ。

「ホレ、いっぱい飲むんだぞ」

……俺が悪かった。全てを謝ろう。

母乳かよ！クソツタレエエエ！！！！

ちよっと待て！それはダメだ！ホントにダメだ！！何がダメかって全てがダメだ。

確かに体は首もすわってない、生後三ヶ月未満の赤ちゃんだ。でも精神は違う！エピソード記憶がぶっ飛んでるので自分が何歳かわからないが、多分成人してるぞ。現に事態に陥るまで母乳の事なんか頭からすっかり抜け落ちていた。そして年頃の女の人から授乳する事に激しく抵抗している。ってか離乳は一歳三ヶ月ころから開始する。ここまで複雑な思考ができて、前世は一歳ですなんてことはないはずだ。

「フフツあまり強く吸い付くでないぞ。」

おいしい！！もう目の前にあるうう！！！！ヤツベ、すっげーピンク色。そうじゃねーよお！！お願い！！一生のお願い！！！！生後三ヶ月未満だけど、一生のお願い使っちゃう！それだけはっ！！！！それだけはやめてっ！！！！なんでもするからっ！！初めて喋る言葉はマンマにするし。夜泣きもしない！！だからそれだけはっ！！

おいっ！バカっ！やめっ…

チューチューゴクゴク

チューチューゴクゴク

チューチューゴクン

ゲプッ

もう何も怖くない

さて腹も膨れたし二つ目の問題について考えようか。

それは違和感があるのだ。

いや赤ちゃんになってる事がすでにおかしいんだが、エピソード記憶がぶっ飛んでるおかげで自分が赤ちゃんになってる事についてはそこまで大きな違和感を感じない。あと俺の言葉遣いが定まらないのは、未発達の頭に成熟した精神が合ってないんだろ。子供はすぐ泣くし、すぐ笑うし、すぐ怒る。子供の激しい感情の起伏が中途半端に精神に反映されてるみたいだ。

じゃあ何が違和感になってるかというと、“何か”あるのだ。何かとは随分漠然とした言い方なんだが、何かとしか言いようがない。

自分の体の中に二つ。そして自分の周りにも感じる事ができる。

体の中にある二つの内一つは、周りにあるものと一緒。いや周りにあるものを吸収してるのか？

もう一つは体の中から湧き出てるようだ。

全くわからん。

わかる事といたら、この二つはさっき俺を凌辱したお母さんから感じた事。

特別なものではないのか？

それとも俺とお母さんが特別なのか？

情報が少なすぎるから判断に困るな。

もった考えたいが時間だ。子供の仕事はよく食って、よく寝て、よ

く出す。さつき満腹になったので眠たくなってきた。

今度こそ起きたら夢オチでありますように。

三話（後書き）

アリカ登場

口調はこれでいいの？アリカって金髪だっけ？ってかいつ頃ネギを村に預けたの？

wiki頼りなので合ってるかわかんない。

来月に漫画買う予定です。

そして主人公の名前判明。

大体ほかの二次創作ではアリカから名前を取っているんですが、この小説ではスプリングフィールドから取りました。

スズナっていうのはカブの別称です。そしてカブは春の七草の一つです

理由はほかの作品との差別化っていうのが大きな理由なんですけど、災厄の魔女って呼ばれてる自分の名前から取って子供の名前つけるかなあって思ってます。

まあ名前なんてどうでもいいんですけどね。

最後に主人公が感じた違和感の正体は気と魔力です。

ほとんどの人がわかったと思いますけど。

四話

首がすわって数週間。もうほとんどの赤ちゃんプレイは網羅した。初めてのオムツ交換はかなり精神にクルものがあつた。しかし今では慣れた。人は適応する動物なのだ。

そして俺は今、大きな事を成そうと挑戦中だ。

これは俺自身にとつても、人類、いや世界にとって大きな一歩となるだろう。

俺がこれを成す事によつて人類は新しい進化の可能性を見つける。俺は今試されているのだ。まさか生後三ヶ月とちよつとでこんな大役を任されるとは思わなかつた。しかし試されているならそれに答えるのが男。俺の底力を思い知れえ！

ゴロンッ

やった！ついにできた！！これで人類は別の進化の道を辿る事になる。その結果、人類はエネルギー問題を改善、地球温暖化も解消。世界は救われ、みんな笑顔になる。鳴り止まないファンファーレと響き渡る拍手に浸りながら、俺は溢れ出る達成感に身を任せた。

ん？何ができたって？
寝返りだバカヤロー。

さて、寝返りもできたし次のステップだ。

まず体の中から湧き出てる何かに意識を集中させる。体全体を把握する事は出来ないので、より集中しやすいように一カ所に限定する。集中する場所はお腹の下あたり。そしてヘソ、胸、肩、に流して、腕まで持っていく。掌でしっかり毛布を掴み、何かに満たされた腕を使って体を起こした。

この数週間、色々違和感について考察して、なんとなくこれの正体とできる事がわかってきた。

簡単な肉体強化、それと体調を整える事もできる。

生まれたての乳児はちよつとした事ですぐ体調を崩す。実際俺も少し体がダルいなど感じる時があった。その時にはすでに、この何かはある程度操作可能だとわかっていた。悪い感じはしなかったのものは試したと思つて体中を循環させたら、段々体調がよくなってきた。それ以来、体調を崩した時は何かを循環させるようにしている。

肉体の強化はさつき実演した通りだ。

この二つの事から、違和感の正体は“気”ではないかと思う。

気は東洋医学では重要な診察方法の一つだ。武術でも独自の概念と理論で気を利用する流派がある。

体調を整える事も、肉体を強化する事も可能だ。

しかし、この違和感を気と仮定すると疑問も沸いて来る。

まず、こんなとんでもないものなのか？東洋医学で使われているといっても、はつきり実感するほど効果がでるとは思えない。

肉体の強化もそうだ。寝返りも、手の平で支えて頭を上げる事も、どっちも普通なら生後五ヶ月ころにできる。俺はまだ四ヶ月も経っていない。

そして、もし気なら何故俺は違和感として認識したのか。気は色々な解釈があるが万物に流転するもの、万物を構成する要素と、どんなものにも存在する。なのに俺はそれに違和感を感じた。

……いくら考えても答えは出そうにない。

それに違和感はもう一つある。こっちの方は全然わかっていない。

今は目の前の事に集中しよう。目の前には赤ちゃんがいる。年は俺と同じくらい。多分双子だろう。名前はネギとお母さんが言っていた。

その頬つぺたは触れなくてもわかるぐらいやわらかそうで、ちっちゃい手には愛嬌がこれでもかかっていうほど詰まっている。

(ヤッベー、めっちゃかわいい)

赤ちゃんを愛でる赤ちゃん。なんとも奇妙な図がそこにはあった。

ずっと見ていたかったが、そろそろ限界だ。腕がプルプルしてきた。

上げていた体を下ろし、腕に溜めた気を解放した。そして次は体中に気を流す。正確に流す事はできないが、これで充分。気合い一発っ！強化した全身の筋肉を使って二度目の寝返りに成功。

考える事、片付けないといけない問題はいっぱいある。でも今はこの赤ちゃんプレイ、もとい赤ちゃんライフを楽しもうと思う。まだまだ人生は始まったばかりなのだから。

もう夢オチは期待しない方がいいだろう。

四話（後書き）

ネギ登場です。

まだこの時はかわいい赤ちゃん。もちろんセリフはない。

ってか四話書いてまだ赤ちゃんって……。

展開が遅すぎる……

更新が早い方がいいと思って、ちょっと書いて投稿してるんですが、もつと書き溜めてから投稿した方がいいのかな？初めて小説書くんでよくわかんないです。

主人公とネギの関係なんですが、どうしましょつか？

ほかの作品は険悪な関係が多いんですけど、俺はそんなにネギ君嫌いじゃないし、主人公も原作知識がないので無理に嫌う必要はない……。

男の娘にしてヒロイン入りとかありますか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7295y/>

イデアの波に乗って

2011年11月29日23時48分発行